

科目名	絵画材料論
単位数	2.0
担当者	芸術学部 講師 菅亮平
履修時期	前期
履修対象	1・2年
講義形態	講義
講義の目的	絵画の制作に必要な各種材料について西洋美術史及び絵画技法史的な検証を踏まえながら、実践者の立場からその成り立ちを体系的に理解する。 (旧称:油彩画材料論)
到達目標	・絵画芸術の構造とその歴史的展開について材料・技法の観点から理解を深める。 ・絵画の基本的構成に関わる支持体と絵具を表現の内容に応じて選択し自製できる。 (知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性)
受講要件	・絵画表現について関心のある学生であれば、要件は問わない。 ・芸術学部油絵専攻の学生は、必修のカリキュラムの中で行われる実技科目で用いる「下地作り」を行うので、1年次に履修することが望ましい。 ・2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で講座が開講されなかったため、2021年度の油絵専攻2年次の学生は履修することが望ましい。
履修取消の可否	可
履修取消不可の理由	
事前・事後学修	油絵専攻の1年次の学生は、後期の実技科目内でグリザイユ技法の実習を行う。
講義内容	本講座は講義と実習によって構成される。講義では、絵画の諸材料と技法に関する網羅的な授業を行い、実習では、支持体及び絵具の製作を行う。支持体は、F10号の合板および麻布キャンバスにそれぞれ白亜地とエマルジョン地(あるいはジェツソ地)を作り、絵具はテンペラ絵具と油絵具を自製する。  【プログラム】 01 [講義1] ガイダンス(講座の概要説明と導入) 02 [講義2] 絵画の成り立ち 03 [講義3] 絵具とメディウム 04 [講義4] 森永昌司教授による特別講義「古典技法の歴史を学ぶ意義(仮)」 05 [講義5] 支持体 06 [実習1] 白亜地の支持体の準備と寒冷紗張り 07 [実習2] エマルジョン地 / ジェツソ地の支持体の準備と前膠塗り 08 [実習3] 白亜地の塗料作製と地塗り作業 09 [実習4] エマルジョン地の塗料 / ジェツソ地の作製と地塗り作業 10 [実習5] 油絵具作りとチューブ詰め(シルバーホワイト) 11 [実習6] 油絵具作りとチューブ詰め(透明色など) 12 [講義6] 様々な描画材料 13 [講義7] 絵画技法史 14 [講義8] 古典絵画技法 15 [講義9] 現代絵画技法  ※授業の順序や内容・構成は変更することがある。 ※支持体の製作実習では、油絵専攻の受講生は白亜地とエマルジョン地を製作する。(他専攻の受講生は白亜地とジェツソ地を製作する。) ※受講生は、・キャンバス貼り器、ハンマーあるいはガンタッカー、刷毛(幅広のもの)、ペインティングナイフ、紙パレットを持参する。(上記の持参用具は、研究室で用意できる数に限りがあるので、受講生は各自で用意することが望ましい。準備できない受講生には研究室から貸し出しを行う。) ※実習に用いる合板、木枠、寒冷紗、麻布、顔料(白亜、その他各種顔料)、メディウム、練り板、練り棒、絵具チューブ、顔料ケース、保存瓶、ウェスなどは教員が用意する。 ※教材費用として3000円程度を必要とする。
期末試験実施の有無	実施しない
評価方法・基準	実習での成果と研究レポートの提出により評価する。課題の設問に対する取り組みを総合的に評価するものとし、判定の基準については以下の通りである。 取り組みの内容が満たされていれば「可」とし、提出レポートなど、取り組みの内容に深化の認められたものを「良」とする。さらに、授業態度も含めた総合的観点において高い学習成果が認められたものを「優」とする。その中でさらに秀でた学習成果の認められたものを「秀」とする。
教科書等	特に指定しないが、参考文献を授業内で適時紹介する。
担当者プロフィール	東京藝術大学で博士号(美術)、ミュンヘン造形美術アカデミーでマイスターシューラー号を取得する。現代アートの領域で国内外を問わず美術作家として活動する。 アーティストウェブサイト: <a href="https://ryoheikan.com">https://ryoheikan.com</a> 授業用ウェブサイト: <a href="https://class.ryoheikan.com">https://class.ryoheikan.com</a>
講義に関連する実務経験	
課題や試験に対するフィードバック	講義内容に関する質問は授業内あるいは個別に回答する。
アクティブ・ラーニング	PBL(学習者が自ら問題を発見し、設定した課題を解決しながら学ぶ)
キーワード	絵画材料、絵画技法、絵画技法史、メディア
備考	新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、講座内容の一部あるいは大幅な変更もありえる。受講生は大学ホームページや教員からの指示に今後も注意する。

閉じる